測量計算・電子野帳（TS）

A-SurveyAd

Android

エース プロジェクト

2020/01

Ver3.3.3 で追加、修正された機能を説明します。

・ライカ GeoCOM ターゲットの設定

PC 版と同様に、GeoCOM 機でプリズム定数、ターゲットの設定を行います。

・標準のターゲットを、A-Survey から選択できます。

・ユーザ定義のターゲットを A-Survey からは選択できません。
TS 側でユーザー定義を選択してあれば、プリズム定数を設定できます。

GeoCOM 用のテキストファイルを作成し、その中に使用する
プリズムタイプを記述します。
ユーザが、テキストファイルを開き（メモ帳)、ご自身が使用する物だけを
記述してください。

12：　MPR122,28.1 ,プリズム,デフォルト
3　：ライカ　360°　,23.1 ,プリズム,デフォルト
8　：ライカ　GMP111,17.5 ,プリズム,デフォルト
1　：ライカ　GMP111-0,0.0 ,プリズム,デフォルト
10　：ライカ　HDS　ターゲット,34.4 ,反射テープ,デフォルト
7　：ライカ　ミニ 360°　,30.0 ,プリズム,デフォルト
0　：ライカ　1 素子,0.0 ,プリズム,デフォルト
2　：反射テープ,34.4 ,反射テープ,デフォルト

テキストファイルは、下記とします。

ファイル名：TPS1200Pr.txt
このファイルは、MicroSD の jp.Asurvey フォルダの直下にコピーしてください。
下記のようになっています。
MicroSD を使用できない機種の場合は、他のファイルと同様に、ASurvey 測量フォルダです。
先頭の数値は半角で！

20,0mm,34.4,
20,-30mm,4.4,
7,ﾐﾆ 360 ,30.0,
0, 1 素子,0.0,
12,MPR122,28.1,
3,360°,23.1,
8,GMP111,17.5,
1,GMP111-0,0.0,

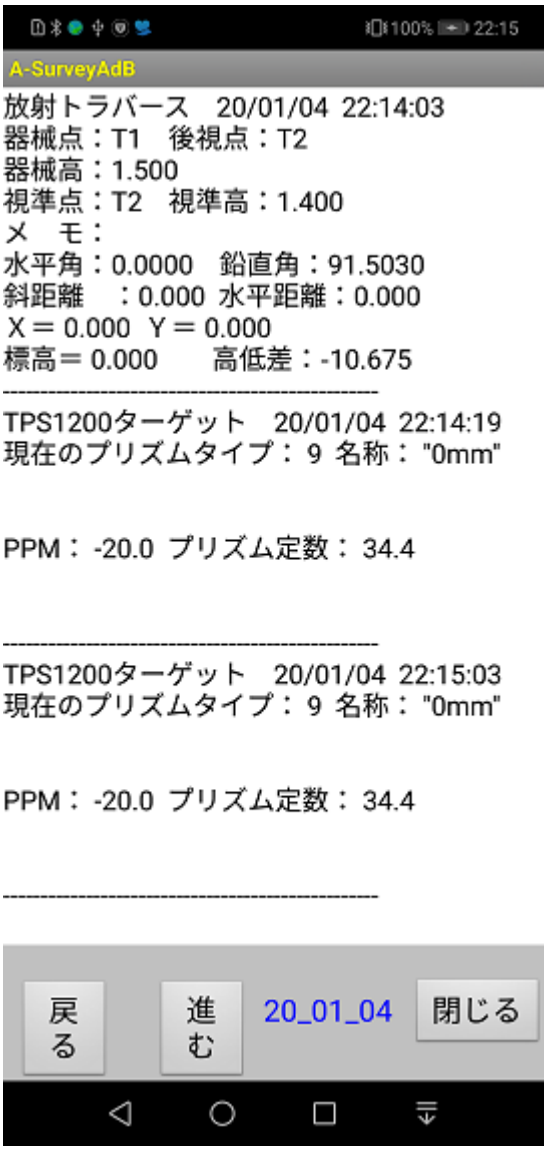
先頭の数値が重要です。
ここで、先頭の数値が 20 のデータはプリズム定数のみを変更します。
よって、これを選択する場合は予め、TS 側でユーザ定義を選択しておいてください。

標準タイプからユーザ定義に戻すのは TS 側でお願いします。

BS ボタンを押した後、現在の設定情報を記録簿に、記録します。

PPM の値は、器械点情報にセットされます。

[測距モード]から、設定すると再度、TS から現在の設定値を取得し
記録簿に、記録されます。

PPM の値は、器械点情報にセットされ、APA データに保存されます。

A-Survey は、ＴＳ側で、ターゲットを変更した場合、
その変更をミラー側で直ぐに、確認はできませんが後視観測毎に、
確認メッセージが出るので間違いの防止になると思います。
記録簿には、ソフト側で変更したターゲット情報が時系列で保存されているので
データの管理と信頼性が上がると思います。